

# 災害が起きたとき、ごみはどうなるの？



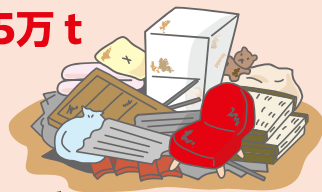
## 災害時特有の災害ごみが多量に発生します



令和5年度  
春日部市で処理した  
**家庭ごみの量**  
約7.2万t / 年



利根川が氾濫した場合の推計  
春日部市で災害により発生する  
**災害ごみの量**  
約32.5万t



**春日部市の年間ごみ処理量の  
約4年分の災害ごみが発生**

※この他に、通常のごみも発生します。

## 災害に備えて各家庭で今できること

普段から不要なものは早めに処分しましょう!



### 理由

災害が起きると、壊れて使えなくなるものが廃棄物になります。すでに使っていない物を普段から少なくしておく必要があります。

# 災害時に家庭から出るごみを持って行く場所は？

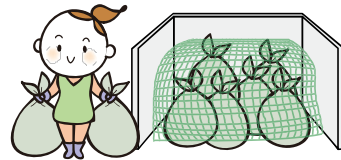
- ①生活ごみは、集積所
- ②災害ごみは、仮置場

生活ごみと災害ごみを  
**区別する（混ぜない）ことが重要**

## ①生活ごみ



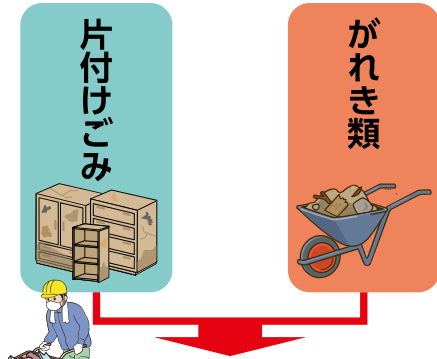
持って行く場所は  
いつも利用している  
ごみ集積所です。



申し込みは  
粗大ごみ受付  
です。



## ②災害ごみ



持って行く場所は  
市が指定する仮置場です。

仮置場とは一時的に災害ごみを  
集めて保管する場所です。



**理由** (混ぜてしまうと...)

➡**ごみの処理が長期化してしまいます。**  
生活ごみと災害ごみは特徴が異なり  
一度混ぜたごみは分別が困難となります。

出し方については、災害の規模・被災状況  
によって異なりますので、万が一災害が発  
生した場合は、市からのお知らせをご確認  
ください。